

令和3年度

外 来 種 対 策 事 業

( 鳥 類 対 策 )

報 告 書

令和4年3月

沖縄県環境部自然保護課

株式会社南西環境研究所

## 目 次

第1章 業務概要	1
1.1 業務名	1
1.2 主な履行場所	1
1.3 業務実施期間	1
1.4 発注者	1
1.5 受注者	1
1.6 業務目的	2
1.7 業務内容	2
1.8 業務実施フロー	4
1.9 業務工程	5
第2章 営巣卵の駆除	6
2.1 はじめに	6
2.2 方法	6
2.3 調査結果	7
第3章 ねぐら探査による成体駆除	24
3.1 はじめに	24
3.2 ねぐら探査による成体駆除	24
第4章 インドクジャク生息調査	33
4.1 はじめに	33
4.2 方法	33
4.3 調査結果	35
4.4 引用文献	37
第5章 普及啓発	38
5.1 はじめに	38
5.2 実施内容	38
第6章 外来種対策事業まとめ	42
6.1 令和3年度駆除結果まとめ	42
6.2 エリアごとのクジャクの生息状況の経年変化	45
6.3 推定生息数シミュレーションモデルの構築	65

第7章 作業部会 .....	68
7.1 第1回作業部会 .....	68
7.2 第2回作業部会 .....	69

# 第1章 業務概要

## 1.1 業務名

令和3年度外来種対策事業（鳥類対策）

## 1.2 主な履行場所

主な履行場所は、沖縄県八重山郡竹富町黒島とした(図 1.1)。



図 1.1 主な業務位置（黒島）

## 1.3 業務実施期間

令和3年4月1日～令和4年3月31日

## 1.4 発注者

沖縄県知事

沖縄県那覇市泉崎1丁目2番2号

## 1.5 受注者

株式会社 南西環境研究所

沖縄県中頭郡西原町字東崎 4-4

## 1.6 業務目的

沖縄県が平成 21 年度に策定・公表した「沖縄 21 世紀ビジョン」では、めざすべき将来像として、「沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にする島」を目標の 1 つとしており、多くの固有種や希少種が生息する、生物多様性に富んだ自然環境が守られていることが将来の姿として記載されている。しかしながら、県内においては、すでに様々な外来種が侵入し、一部定着が確認されている。それらの状況を踏まえ、「沖縄県外来種対策指針（以下、「指針」という。）」、「沖縄県対策外来種リスト（以下、「リスト」という。）」および「沖縄県外来種対策行動計画（以下、「行動計画」という。）」を策定し、本県の外来種対策を推進するための基盤整備を図っている。

本業務では、沖縄県の生態系を保全するため、指針や行動計画等にもとづき、外来種である鳥類（特に、インドクジャク（以下、「クジャク」という。）」への対策を実施した。

## 1.7 業務内容

### (1) インドクジャクの捕獲等実施

竹富町において、行動計画および「沖縄県外来種対策行動計画に基づくインドクジャク防除計画」（以下「クジャク防除計画」という。）に定められた防除目標の達成のため、空気銃等による捕獲および駆除を行った。

#### 1) 捕獲実施計画書等の作成

業務目的を達成するため沖縄県環境部自然保護課担当職員（以下「担当職員」という。）と協議の上、業務実施計画書および安全管理計画書を作成した。

#### 2) 捕獲実施地域

クジャク防除計画に基づき、主に黒島において実施した。

#### 3) 捕獲状況報告

着手時、作業部会実施前、最終報告時および各調査・捕獲実施時に行った。

#### 4) 捕獲作業等

##### ① 営巣卵の駆除

クジャクの繁殖による個体数の増加を抑制するため、4月から7月までの間、探索犬を用いて21日間の営巣卵の探索および駆除を行った。

##### ② ねぐら探査による成体駆除

年間6回の計31日間、クジャクのねぐら探査を行うとともに、当該ねぐら地点においてワイヤーや空気銃を使用した成体の捕獲・駆除を実施した。

なお、期間中3日間は、サーマルドローンによりアクセス困難地域の調査を行った。

##### ③ インドクジャク生息調査

業務実施地域内のクジャク対策を評価するため、生息状況調査を実施した。なお、当該調査は春季（2～3月）に計3日間実施した。

#### (2) 他の鳥類の緊急防除

リストに定める他の鳥類や生態系への影響が大きい鳥類の侵入・定着が確認された場合は、有識者の意見も踏まえて担当職員と協議し、必要に応じて捕獲等の緊急的な防除の検討等を実施するものとしたが、今年度はこれに該当する緊急防除はなかった。

#### (3) データの集計・解析等

捕獲状況、分布密度および捕獲効率について、以下のことを考慮し調査検討するとともにその結果について評価した。

- 捕獲努力量、捕獲数、捕獲効率等の基本的事項を区域単位等でとりまとめた。
- 捕獲数の変化、生息密度の変化等について解析を行い、課題点を抽出するとともに捕獲手法に反映させ、捕獲事業全般をとりまとめた。
- 黒島における推定生息数について、捕獲努力量や過去駆除結果等を用い、シミュレーションモデルの構築を検討した。

#### (4) 作業部会の設置・運営、普及啓発

##### 1) 作業部会

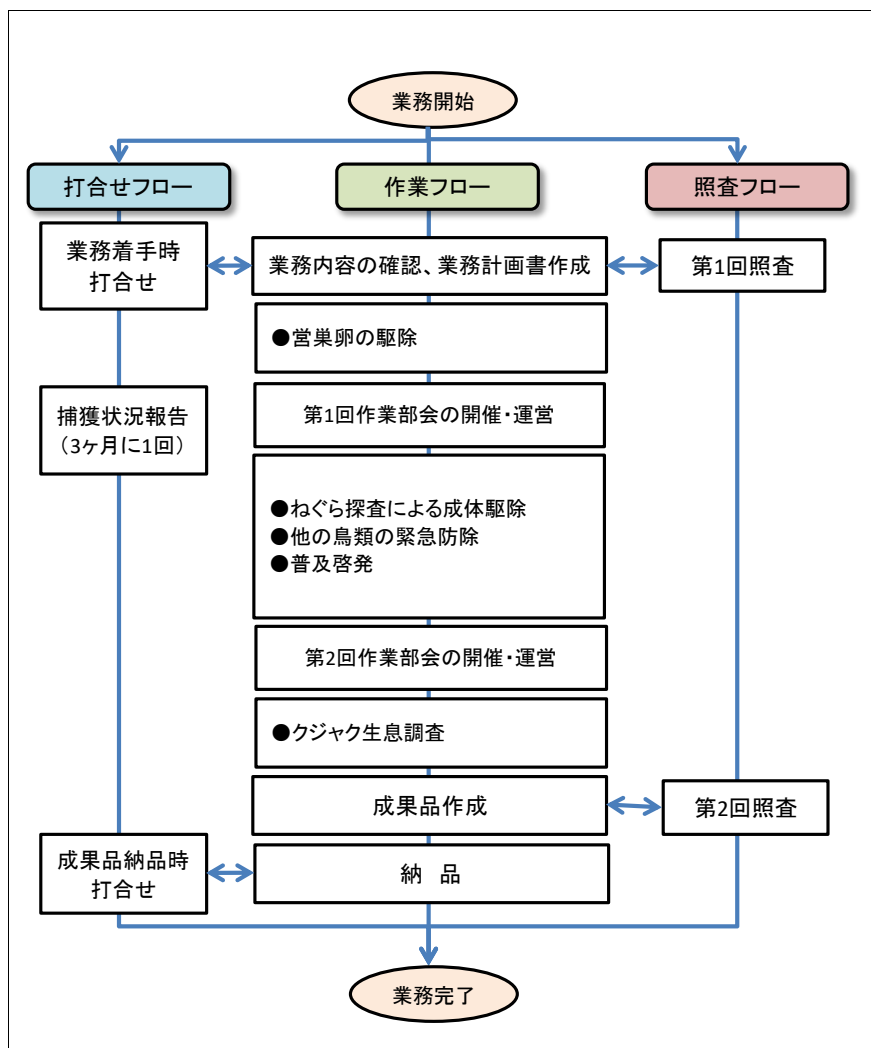
鳥類対策の評価にあたり、専門家を含めた作業部会を令和3年8月12日および令和4年2月10日に開催した。

##### 2) 普及啓発

地域住民への普及啓発のため黒島港において、本事業における普及啓発パネルを設置するとともに、令和2年度に作成した普及啓発チラシの配布を行った。

#### 1.8 業務実施フロー

当該業務は、図 1.2 に示す業務実施フローにしたがって実施した。



## 1.9 業務工程

当該業務の業務工程を表 1.1 に示す。照査は打合せ前に社内で自主的に実施した。また、打合せ協議は作業部会前および捕獲状況報告時に合わせて行い、計 5 回実施した。

表 1.1 業務工程表

業務区分	年・月	令和3年										令和4年			備考		
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月				
計画準備（業務実施計画書等作成）		■															
現場調査	営巣卵の駆除	■	■	■	■												計21日
	ねぐら探査による成体駆除						■	■	■	■	■	■	■				計31日
	インドクジャク生息調査													■			計3日
データの集計・解析等					■												
作業部会						●									●		2回開催
普及啓発（パネル設置）																■	適宜実施
報告書作成																■	
照査		●															●
打合せ協議		●				●	●							●		●	